

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

保育内容の研究（表現-音楽）Ⅰを発展させた内容として、高等学校音楽科教員としての実務経験を生かして伝統的な音楽における唱歌、音と身体の動きの自由な表現等を行い、保育者として求められる感性を磨き表現の技術を伸ばすよう指導する。またグループによる「ミニ・シアター」の制作・発表を通して協働することの意義や保育者としての資質を高められるよう指導する。

授業計画

| | |
|--------|------------------------|
| 第 1 回 | ガイダンス |
| 第 2 回 | 絵本を表現する 声・リズムを歌う |
| 第 3 回 | わらべうた・動きを伴う歌 |
| 第 4 回 | 動きを伴う歌を用いた模擬保育 |
| 第 5 回 | ことばのアンサンブル・ボディーパーカッション |
| 第 6 回 | 詩を読む・群読 |
| 第 7 回 | ことばのアンサンブルを用いた模擬保育 |
| 第 8 回 | 唱歌と和楽器を用いた活動（締太鼓、鉦、小鼓） |
| 第 9 回 | 音楽づくり わらべうたと太鼓、鉦の合奏 |
| 第 10 回 | 「ミニ・シアター」制作ガイダンス |
| 第 11 回 | 「ミニ・シアター」制作 グループ活動1 |
| 第 12 回 | 「ミニ・シアター」制作 グループ活動2 |
| 第 13 回 | 「ミニ・シアター」制作 グループ活動3 |
| 第 14 回 | 「ミニ・シアター」発表会 |
| 第 15 回 | 「ミニ・シアター」検討会およびまとめ |

到達目標

子どもの音楽表現を、人との相互作用、環境との相互作用として成り立つことを理解する。
音楽表現を伴う活動の立案、模擬保育ができる。
幼稚園教育要領の目標、「表現」の内容について理解する。

履修上の注意

模擬保育の準備、「ミニ・シアター」制作等グループ活動に協力し、事前練習等自主的な学習に積極的に取り組むこと。

予習復習

テキストの該当ページを読み、学んだ教材を復習する。

評価方法

実技および筆記試験 50%、グループ発表 30%、提出物等 20%により総合的に評価する。

テキスト

『音楽を学ぶということ』今川恭子監修 教育芸術社
幼稚園教育要領